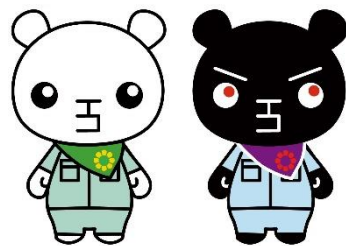


外国人材受入企業様のための オーダーメイド型プログラム



©teitan&black-teitan, City of Kitakyushu

(公財)北九州国際交流協会



<企業様に合ったオーダーメイド型プログラム>



外国人材を受入れてみて初めて分かる良さがたくさんある一方で、ことばや文化の違いによる難しさや心配などもでてくることがあると思います。

当協会には、日本語教育、外国人支援など、各方面のプロがチームとなって企業様の外国人材育成のお手伝いをいたします。

賛助会員	コース	主な対象
無料	①「やさしいにほんご」コース (※目安：基礎編2時間・実践編2時間)	技能実習指導員、技能実習責任者、生活指導員、 その他、外国人材と直接かかわる ご担当者様
無料	②異文化理解コース (※目安：2時間)	技能実習指導員、技能実習責任者、生活指導員、 その他、技能実習生と直接かかわる ご担当者様
半額	③受入担当者のための支援コース (※目安：2回)	外国人材への日本語指導・生活支援の ご担当者様
半額	④仕事に必要な日本語教育 (※目安：90分×10回)	技能実習生、外国人就労者 (主に仕事に関する日本語)

※上記の「目安」は一例です。企業様によって必要な時間・回数が異なります。

やさしいにほんごコース



日本語での生活に慣れていない外国人の方にとって、私たちが日頃「ふつうに」使う日本語は難しいんです。
外国人就労者にも分かりやすい「やさしいにほんご」を使うことで、ハードルがぐっと下がります。

外国人就労者と話をしていて、
「思っていたよりも日本語の能力が低いのでは？」
「このくらいのことでも理解できないのか？」
そう思われたことはありませんか？

実は、教科書で学んできた「日本語」と、仕事の現場や生活環境で耳にする「日本語」はまったくちがうもの。

外国人就労者は日本語の上達を目指し、受け入れ側のみなさんは外国人にわかりやすい「やさしいにほんご」のコツをつかむ。

そうすることで、職場でのコミュニケーションがより早くスムーズになっていきます。

【コースを受講するメリット(イメージ)】



☹ BEFORE ☹	☺ AFTER (コース受講後) ☺
「終わっとうと？」とか「終了しましたか？」という簡単なことにも答えられない！	⇒「終わりましたか？」と言いかえた。 すぐに「はい、終わりました」という返事が返ってくるようになった。
「それは難しいね」「ダメかも」と言ったのに何度も繰り返す！	⇒「それはダメです」とはっきり伝えてみたら、すぐにやめてくれた。これまでちゃんと理解できていなかったことが分かった
「明後日のこの時間までに」といったのに約束を守らない。	⇒「10日水曜日の午後2時まで」と書いて見せた。約束を守れるようになった。

異文化理解コース



日本人に当たり前の習慣や文化があるように、外国人にも彼らが生活してきた土地の文化や習慣があります。言葉だけでなく、文化の違いを理解することで、コミュニケーションしやすくなります！

日本人なら誰もが「常識だ」ということでも、外国人にとっては「自分の国ではありえないこと」かもしれません。もちろんここは日本ですから、日本の常識に合わせてもらわなければならないこともあります。しかし、頭ごなしに叱ったり、「ルールだから」「常識だから」と押し付けるよりも、外国人就労者の背景を知り、日本の習慣や考え方を伝えることで、改善されることも多くあります。

コミュニケーション上のトラブルが生じたときに「なぜだろうか」といったん立ち止まってみることで、大きな問題になることを予防する効果もあります。

【コースを受講するメリット(イメージ)】



☹ BEFORE ☹	☺ AFTER (コース受講後) ☺
「ミスしたんで、ちょっと頭を小突いてやっただけなのに、なぜあんな態度をするんだ」	→たとえ冗談のつもりであっても、頭を触ること自体が「相手を見下す行為」であることは多いのだということが分かった。
「報告せずになぜ先に進めるんだ」	→実習生の国では、小さなことは自分で判断し、先に進めることが責任ある仕事のやり方であることが分かった。
「数日前に休暇の申請をするなんて！1か月前に申請するのが常識だろう」	→休暇は当然の権利。国では、いつ休暇申請しても構わなかったことを知った。

受入担当者のための支援コース



外国人社員・技能実習生の教育係になるように言われたが、何から始めたらいいのかわからない。
そんなご担当者様の日本語指導や生活支援などに関するお困りに寄り添ったお手伝いをします。

外国人社員・技能実習生の指導・支援を任されている
ご担当者様のためのコースです。

日本語に自信がない場合、自分から質問
したり、話しかけることに躊躇してしまうことが
多くあります。なので、まずは日本語が間
違っていることよりも、日本語で話しかけてき
たこと自体に着目してほめることも大切です。

こうしたちょっとした工夫によって、ご担当者
様の支援の効果がより高まるかもしれません。
日本語教育や外国人支援に経験豊富な
コーディネーター、そして外国出身の相談員
と一緒に考えていきましょう。

【コースを受講するメリット(例)】



☹ BEFORE ☹	☺ AFTER (コース受講後) ☺
日本語の報告書を書けるようにさせたい	日本語を書くこと、業務で使う日本語を覚えることを中心とした日本語教育について助言します
日本人社員とのコミュニケーションをもっととれるようにさせたい	日本語の力だけでなく、社員さんとの関係性も構築できるようにお手伝いします
新しい指示や、指示内容が変わった時に、理解できているかどうか分からない	「指示内容を復唱させる」など、日常で取り入れられる工夫を考えます

仕事に必要な日本語教育



仕事に必要な日本語力というのは、上司への確認、報告、相談をしたり、会社のルールやマナーを理解することも含まれます。当協会の経験豊富な日本語教育のプロが、対面またはオンラインでの日本語指導を行います。

【受入側と就労者の誤解(イメージ)】



外国人就労者は、質問や説明のしかたが分からず、あいまいな返事をしたり、必要なことを伝えていなかったりすることがあります。

また、母国語での言い方をそのまま日本語にしたために、日本人にとって失礼な表現になり、不快な思いをさせてしまうこともあります。

このような「仕事に必要な表現や伝え方、答え方」を中心に、必要な時に日本語で説明できるよう、他の外国人就労者とともに学び、練習します。

☹ 受入企業様 ☹	☺ 外国人就労者 ☺
わかっていないのに、「わかりました」という。	→わからないことに対する具体的な質問のしかたがわからない。 →「分からない」と言ったら失礼になると思っている
大事なことを報告しないまま帰った。	報告すべきこととそうでないことの線引きがよく分からなかった。何も聞かれないので、明日言えればいいと思った。
指示されたとおりにできなかったのに、何も言わなかった。	→どう言えばわからなかったため、忙しい上司に迷惑をかけてはいけないと思い、先輩に聞こうと思った。

ご質問などございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

(公財)北九州国際交流協会 担当:石井・矢野

TEL 093-643-5931 FAX093-643-6466



(公財)北九州国際交流協会

